

## 第6回 福岡空港回転翼機能移設事業 環境影響評価技術検討委員会

(議事要旨)

日 時：平成30年2月14日(水) 14:00～15:50

場 所：国土交通省大阪航空局福岡空港事務所 2階 A会議室

出席委員：

薛 孝夫 (元九州大学 農学研究院 准教授)

田村 耕作 (日本野鳥の会 福岡支部 副支部長)

野上 敦嗣 (北九州市立大学 国際環境工学部 教授)

松藤 康司 (福岡大学 工学部 教授)

吉久 光一 (名城大学 学長)

<敬称略：五十音順>

**議事要旨：**

### 1. 環境影響評価に係る手続きの経過報告について

- 資料1「環境影響評価に係る手続きの経過報告」について、事務局より説明を行った。

### 2. 環境影響評価書(案)について

- 資料2「福岡空港回転翼機能移設事業に係る環境影響評価書(案)」について、事務局より説明を行った。
- 以下の質疑及び助言が行われ、福岡空港回転翼機能移設事業に係る環境影響評価書(案)の内容について、修正内容が確認され了解が得られた。

### 【個別的事項】

#### ■資料2

P8

委員：市長意見の「騒音レベル等」の“等”に、超低周波音が含まれているのであれば、事業者見解としてその旨を記載する必要があるのではないか。

事務局：市長意見では、騒音についての意見として送付されている。

委員：確かに福岡市の審査会での議論は騒音だけであったが、市長意見はそのような記載になっていないと見ることも出来るので留意願いたい。

事務局：承知した。

P9、P10

委員：「国土交通省モデルによる計算の方がやや大きめに計算される傾向である」との結果について、数値を示したほうがわかりやすい。

事務局：2種類の機種について検証しており、数値を示すことは可能である。

委員：整理のうえ数値を示したほうがよい。

事務局：数値は $L_{den}$ 6dB程度の差があるため、表示の方法について検討したい。

委員：例えば、数値を幅で示すなどの方法がある。

事務局：ご指摘を踏まえ数値を加筆する。

P16、P17

委員：事後調査地点の範囲を、評価書（案）に記載している植生図に合わせたうえで、範囲もひとくくりにしたほうがよい。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

P21

委員：「バードストライクの可能性は低い」と「鳥類に与える影響は極めて小さい」の記載内容では、表現が異なる。

事務局：バードストライクは確率として定量的に示しているため高い・低いとして表現しており、鳥類に与える影響は定性的なものなので大きい・小さいと表現している。

P30

委員：事業者見解（案）の「体制を整えた上で」について、事業者としての考えを具体的に記載したほうがよい。

事務局：ご指摘を踏まえ主語を加筆する。

委員：ヘリコプターを管制するのはどこか。対象事業実施区域に近い和白病院に飛来するドクターヘリの騒音があると思うが、これが苦情とならないか。

事務局：福岡空港の管制圏に入らなければ管制はしない。ドクターヘリのような役割のヘリは病院だけではなく消防が運航している場合もある。

委員：近隣住民はヘリポートの騒音と、和白病院の騒音を区分することは難しいのではないか。

事務局：和白病院側へ情報提供依頼のうえ、可能であれば運航情報を把握することは可能である。

委員：事業者見解として、「本ヘリポートでの運航をした場合に確認する」などの表現に修正したほうがよい。

事務局：ご指摘を踏まえ主語を加筆する。

## ■評価書（案）

全体

委員：評価書（案）に記載している数式と係数の文字サイズが違うため統一したほうがよい。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

P3. 2-61

委員：鳥獣保護区の指定状況について、県と国の両方で指定があり、和白干潟と多々良川河口は国の指定であるため、わかるようにしておくとうよい。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

P14-1

委員：受託者に委託して実施した内容として、「本環境影響評価書」を「本環境影響評価書の作

成」に修正したほうがよい。

事務局：ご指摘を踏まえ修正する。

### 3. その他

- ・今後のスケジュールについて、事務局より説明を行った。
- ・本日の意見を踏まえて福岡空港回転翼機能移設事業に係る環境影響評価書（案）を修正し、3月中旬頃に福岡空港回転翼機能移設事業に係る環境影響評価書を福岡市長へ提出する予定である。

以上